

令和3年度 町長施政方針の概要 と関連予算（主な事業）

1. 安全で安心して暮らしやすいまちづくり

「すまいの再建」は最重要課題

- 生活再建の基盤となる宅地。被災した宅地を整備。
被災宅地復旧支援事業補助金（2億7,600万円）
- 仮設住宅にお住まいの方々への支援も引き続き実施。
応急仮設住宅移転費用補助金（100万円）
被災者転居費用助成金（2,000万円）
被災者民間賃貸住宅入居支援助成金（600万円）



昨年度完成した
消防団詰所

消防・防災対策はさらなる充実を

- 防災行政無線設備をデジタル化。聞き取りやすくなり、データ連携も可能に。
防災行政無線デジタル化工事請負費（2億7,580万円）
- 町民の皆さんが行う、全国各地の被災地でのボランティア活動に対して、町内の店舗で使える電子ポイントを付与します。
益城町7×2つなぐ基金（250万円）

その他の予算

- 消防団詰所建設工事費（2,890万円）
- 小型動力ポンプ・ポンプ積載車整備（1,859万円）
- 災害拠点施設等備蓄資機材（2,125万円）
- 災害ボランティア基金積立金（1,000万円）
- 「熊本地震 記憶の継承」展示等業務委託（2,500万円）

2. いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

災害公営住宅などを含む地域福祉の充実

- 社会福祉協議会などの関係機関・団体と連携した支援活動を充実
重層的支援体制整備事業移行準備業務委託料（3,100万円）
- ましき健康づくり応援ポイントやスマホアプリなどを活用し、老若男女全ての人の健康づくりをサポート
健康ポイント業務委託料（57万円）
健康ポイント事業負担金（111万円）

超高齢化社会に対応する高齢者福祉の充実を

- 「住み慣れた地域で自分らしい暮らしが続けられるよう地域全体で支える仕組み」、「認知症サポーターの養成」、「認知症高齢者の見守り体制の充実」を図ります。
重層的支援体制整備事業移行準備業務委託料（3,100万円）
【再掲】

町の将来を担うのは子どもたち。

子育て支援に全力

- 「病児・病後児保育事業」を関係自治体と協力しながら広域的に実施します。
病児・病後児保育事業委託料（1,050万円）
病児・病後児保育施設相互利用負担金（20万円）

その他の予算

- 障がい者に寄り添った適切なサービスを提供します。
障がい者タクシー券交付業務委託料（40万円）



ましき健康づくり応援
ポイントロゴ